

日本製鋼広島製作所 鍛造工場を組立工場へ

●日本製鋼所広島製作所(八木直彦所長)が、生産効率化の一環として鍛造工場を廃止、工場建屋は機械設備の撤去作業が終るのを待って組立工場に転用する。

工場建屋三八九三平方、加熱炉のほか3トと一・五トハンマーを備えていた鍛造工場は、主に広島製作所で使用する大型鍛造品を生産していたが、機械設備が古く、稼働率も低水準で推移していたためすべて外注に切り替えたもの。すでに工場のはほぼ半分については6月中旬に撤去作業を終っており、今秋中には全面転用を終る計画。なお、三菱広船でも数年前鍛造設備を廃止している。

今西製作、日ピ經由で 西独VWへ部品供給

洋工協力工場の●今西製作所(安芸郡海田町、今西富生社長)では、日本ビストンリングを經由し、フォルクスワーゲン米国工場向けに空冷式乗用車用シリンドラーを月間四万個(一万セット)継続し輸出しているが、このほど西独ワーゲン向けにも月間一万个の輸出商談が成立、8月から本格出荷を開始する。

ワーゲン米国工場向けがビストンをセッとした完成品なのに対し、今回の西独向けはビストンを除く半製品、当面向う三年間に三六万個、月平均一万个のペースで継続供給する

が契約の骨子となっている。

美和製作所 株式改組 500トンプレスも導入

金型製作の●美和製作所(安佐北区安古市町下相田四一、資本金一〇〇〇万円、林俊臣社長)は、創業一五周年を機に今年1日付で株式組織に改めた。と同時に五〇〇トランクプレスを一基導入した。

金型分野の中でも順送、トランスファーを得意とし山本鋼材、仁井鉄工といった洋工関連企業からの受注主力(七〇%)に、佐竹製作所などの仕事もこなしてこのところ毎期二〇%前後の伸びを示し、集計中の55年6月期も二億一〇〇万円(前期一億七八三万円)程度が見込まれている。こんかい二〇〇万円かけ導入した住友機械製のプレスも、こんご増勢が予想される洋工関連受注の守備範囲を拡大するのに備えたもの。なお新会社の資本金は五〇〇万円となっている。



の。なお新会社の資本金は五〇〇万円となっている。

奥田商事、中四国初の 8ミリ自動現像機導入

コダカカラー現像の奥田商事●(西区横川町一丁目一〇一、奥田耕三社長)は、中四国で初めて8ミリ用ビー用自動現像機NC81100を

RC造近代建築 貸事務所・冷暖房完備
バスセンターそごう

●商工会議所 ●第一産業 ●原爆ドーム ●広島銀行

詳細は下記までお問い合わせ願います
大手町ビル ☎47-9762

一基導入(費用二五〇〇万円)、7月中旬から稼働をはじめ。

従来、中四国地区では8インチクロームの現像所がなく、一週間前後かけて京都に送っており、そのため県下での8インチ需要は年々減少を辿る一方だったが、コダック製品以外のサクラ、富士、チノンサーベラス(防犯カメラ)の各フィルムも半日で現像仕上げするだけに、定着すればこんご8インチの需要が一段と増えることになりそう。

▼東京芝浦電気中国支社 7月15日、16日の両日、広島グランドホテルで「東芝ビジネスフェア」を開催。東芝グループ二社が結集、「今日から明日のオフィス」をテーマに、漢字オフコン、マルチワークシステム、日本語ワードプロセッサ、ファクシミリ、複写機などを最新鋭機を展示する。

▼広島中小企業家同友会 14日に紅葉会館で7月例会を開催する。テーマは「全国総会では何を学んだか」また25日は青年道場例会を鯉城会館で開催する。テーマは「エネルギー問題の二回目」。

お中元に...

今年もお中元、ご贈答に
贈って喜ばれる
酔心食券券をどうぞ

●広島・岡山・東京各店で買え、ご使用頂きます。
●料理人の味がする お酒を飲みながらご利用下さい
(地方発送承っております) ひろしま名物 酔心